

都市再生整備計画(第5回変更)

う ど やま そう ごう こう えん しゅう へん ち く
有度山総合公園周辺地区

しずおか けん しずおか し
静岡県 静岡市

平成23年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	有度山総合公園周辺地区	面積	312 ha
計画期間	平成 19年度 ~ 平成 23年度	交付期間	平成 19年度 ~ 平成 23年度				

目標
 豊かな自然環境を保全しながら、市民に親しまれる空間の創出及び動物とのふれあい、生命の大切さを認識することのできる場の創出。
 ・市民の生活を豊かにする余暇活動や学習・文化・レクリエーション活動の拠点として、また環境教育活動の拠点として整備を進める。
 ・動物や環境について学べる学習教養施設の整備を進める。
 ・東海地震に対する老朽化した施設の耐震対策整備を進める。
 ・渋滞解消や地域住民の迷惑解消を目的とした交通円滑化の整備を進める。

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 (経緯)
 本地区は、市民の身近な自然である有度山を背景に、豊かな歴史と文化に育まれた”しずおかのみち”を一望できる、自然型・施設型双方の性格を併せ持つ静岡市の総合的な文化・レクリエーション拠点として推進するとともに、有度山の豊かな自然を活用して憩い・遊び・創造する、市民の生活を豊かにする余暇活動拠点として整備を進めてきました。また、昭和40年(1965年)には、市制80周年記念事業として、この地区内に市立動物園の建設構想が発表され、その反響は大きく、市内の児童生徒の「一円募金」をはじめとする市民の寄付が相次いで寄せられ、昭和43年に約6.6haの動物園が完成しました。日本平動物園は、四季にわたるイベントや遊戯施設の整備を行い、市民の方々に行動地として親しまれると同時に、サマースクールや幼児動物教室など、児童生徒の情操教育にも、尽力しており、特に幼児動物教室は、開園2年後の昭和46年より実施しており、現在では幼稚園・保育園の年長児を対象とした教室として広く定着しております。また、平成11年度からはガイドボランティアを導入し、市民の自主的な生涯学習活動を支援しております。さらに近年は学校5日制や総合的な学習の時間の導入に対応し、職場体験学習・郊外学習・ツアーガイド・出張動物園ガイド等さまざまな学校対応事業も実施しております。動物園へのアクセス道となる市道池田日本平線は、来園車両や日本平山頂への観光車両により休日には車両渋滞が発生しており、近隣住民や観光客に多大の迷惑をとっています。特に動物園入り口信号交差点での来園者の右折進入と同交差点の滞留長不足及び駐車場の容量不足による渋滞が顕著です。

課題
 ・本地区の既設公園では、樹林地の散策路やハイキング等の園路整備の要望が、地元住民からも多く、体力的・精神的健康の場となるよう、自然を活かした施設及びスポーツや運動のできる広場の整備が必要である。
 ・動物園の改修・整備を行い、動物とのふれあい、生命の大切さを認識することのできる場の整備を早急に進めるとともに、自然を活かした園内の景観やベンチや休憩所等の休養施設やトイレ等の便益施設の整備を進める必要がある。
 ・日本平動物園内の既存施設については、東海地震に対する耐震性に問題を抱える施設がいくつか点在し、大きな被害を受けることが想定されるため、早急に整備する必要がある。
 ・市道池田日本平線(旧日本平パークウェイ)は、動物園の来園車両の入庫待ちや、日本平への観光車両の集中により休日には車両渋滞が発生し、近隣住民や観光客に多大な迷惑をかけており、新たな動物園の進
 将来ビジョン(中長期)
 第1次静岡市総合計画の中で、「次代を担う人材の育成と環境の整備」・「健やかな心と身体をつちかうスポーツ・レクリエーションの推進」として人と動物と自然が調和した動物園づくりが位置づけがされている。静岡市都市計画マスタープランの土地利用基本方針で、市街地に近接する有度山等の自然緑地を保全し、市民のレクリエーション活動の場としての活用が位置づけられている。静岡市都市計画マスタープランの都市環境基本方針で、文化レクリエーション拠点の形成として有度山の豊かな自然環境を保全しながら、自然と一体となった余暇利用空間の拡充を図るため、既にある文化、学習機能に加え、スポーツ・レクリエーション施設の整備を推進して、市民が健康と生きがいづくりを行う快適で地域住民にも優しい都市環境の創出を図る

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
余暇活動に対する満足度	%	来客者アンケート(5段階評定法)による、満足している人(5および4を選択した人)の割合 (5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満、1不満)	満足度の増加によりレクリエーション活動等の拠点としているか把握する。	20.6	H18	32.3	H23
日本平動物園の来客者数	人/年	日本平動物園の来園者の推移	動物や環境について学べる学習教養施設の整備を進め、利用者増加を図る。	473,019	H17	520,000	H23
日本平動物園の来客者満足度	%	来客者アンケート(5段階評定法)による、満足している人(5および4を選択した人)の割合 (5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満、1不満)	動物や環境について学べる学習教養施設の整備を進め、満足度の増加を把握する。	28.7	H18	36.3	H23
老朽化した施設の耐震化率	%	平成18年において耐震化が完了している施設の割合	老朽化した施設の耐震化率を把握する。	50.0	H18	90.0	H23
動物園へのアクセスに対する満足度	%	来客者アンケート(5段階評定法)による、満足している人(5および4を選択した人)の割合 (5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満、1不満)	交通円滑化対策の整備をすることにより、渋滞をなくし市民に親しまれる空間の創出を図る。	28.7	H21	40.3	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○市民の生活を豊かにする余暇活動や学習・文化・レクリエーション活動の拠点として、また環境教育活動の拠点として整備を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のレクリエーション資源のネットワークの構築や自然とのふれあいを通じた学習体験機能の充実。 ・幅広い年齢層に対応した活動施設の導入 ・自然保護の推進。 ・緑の景観の保全。 ・市民の健康づくり、スポーツ、レクリエーション活動の場の創出。 	<p>(公園事業)：基盤整備事業 (地域生活基盤事業)：散策路広場整備事業 (地域生活基盤事業)：緑地・広場整備事業 (地域生活基盤事業)：情報板設置事業 (提案事業)地域創造支援事業：アクセス道路整備事業 (提案事業)事業活用調査：埋蔵文化財発掘調査 (提案事業)事業活用調査：アクセス道路調査 (提案事業)まちづくり活動推進事業：まちづくり推進活動事業</p>
<p>○動物や環境について学べる学習教養施設の整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物とのふれあい教育の充実。 ・環境教育機能の充実。 	<p>(公園事業)：学習教養施設整備事業 (公園事業)：動物体験ふれあい施設整備事業 (提案事業)地域創造支援事業：猛獣館整備事業、新爬虫類館整備事業 (関連事業)：フライングケージ整備事業</p>
<p>○東海地震に対する老朽化した施設の耐震対策整備を進める。</p>	<p>(公園事業)：学習教養施設整備事業 (提案事業)地域創造支援事業：管理事務所等関連整備事業 (提案事業)地域創造支援事業：施設解体撤去</p>
<p>○渋滞解消や地域住民の迷惑解消を目的とした交通円滑化の整備を進める。</p>	<p>(公園事業)動物園駐車場整備事業 (公園事業)動物園進入路整備事業 (高質空間形成施設)：進入路アンダーパス整備事業</p>
<p>その他 その他</p> <p>○交付期間中の計画管理について 各種事業を円滑に進めながら、目標指標等を達成するために、中間年度におけるモニタリングを動物園等で定期的に実施し、まちづくりの課題や今後の事業運営へ反映していく。</p>	

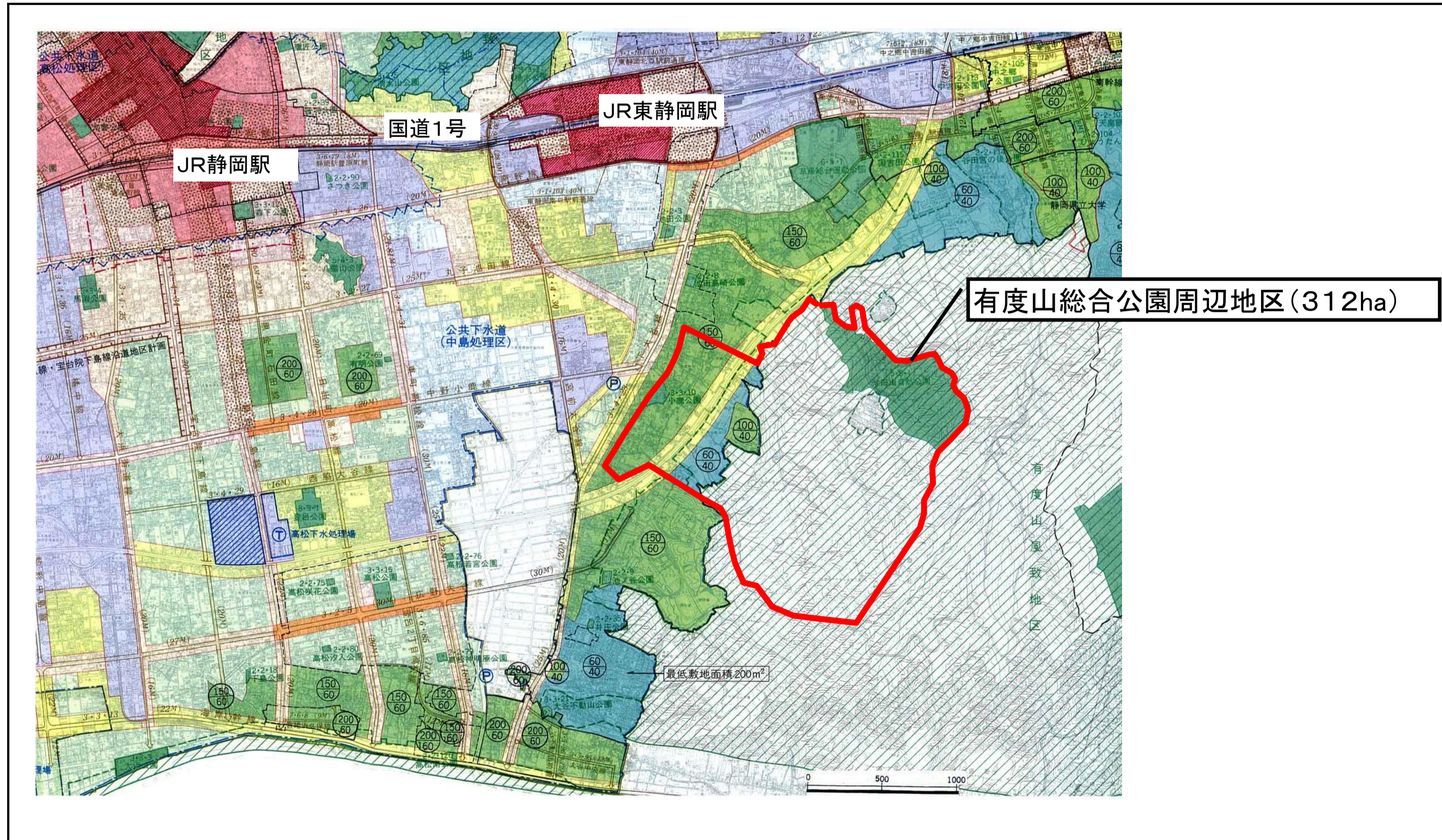
<都市再生整備計画の整備方針等>

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

都市再生整備計画の区域

有度山総合公園周辺地区(静岡県静岡市)	面積 312 ha	区域 池田、小鹿、大谷
---------------------	--------------	----------------



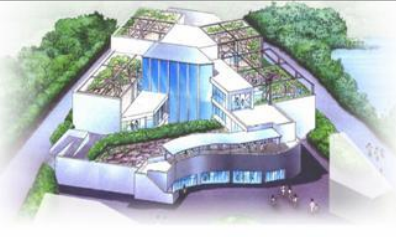
有度山総合公園周辺地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	豊かな自然環境を保全しながら、市民に親しまれる空間の創出及び動物とのふれあい、生命の大切さを認識することのできる場の創出。	代表的な指標	余暇活動に対する満足度 (%)	20.6	(H18年度)	→	32.3	(H23年度)
	・市民の生活を豊かにする余暇活動や学習・文化・レクリエーション活動の拠点として、また環境教育活動の拠点として整備を進める。		日本平動物園の来客者数 (人/年)	473,019	(H18年度)	→	520,000	(H23年度)
	・動物や環境について学べる学習教養施設の整備を進める。		日本平動物園の来客者満足度 (%)	28.7	(H18年度)	→	36.3	(H23年度)
	・東海地震に対する老朽化した施設の耐震対策整備を進める。		老朽化した施設の耐震化率 (%)	50.0	(H18年度)	→	90.0	(H23年度)
			動物園へのアクセスに対する満足度 (%)	28.7	(H21年度)	→	40.3	(H23年度)

- 凡 例
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業

○関連事業
フライングケージ整備事業

■基幹事業(公園事業)
学習教養施設整備事業



■提案事業(地域創造支援事業)
アクセス道路整備事業

■提案事業(事業活用調査)
アクセス道路調査

■提案事業(まちづくり推進活動事業)
まちづくり推進活動事業

■基幹事業(地域生活基盤施設)
散策路広場整備事業

■提案事業(事業活用調査)
埋蔵文化財発掘調査

■提案事業(地域創造支援事業)
猛獣館整備
管理事務所関連施設整備事業
新爬虫類館整備、施設解体撤去

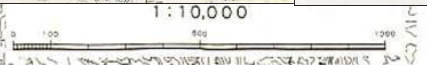
■基幹事業(高質空間形成施設)
進入路アンダーパス整備事業

■基幹事業(公園)
動物園進入路整備事業
動物園駐車場整備事業

■基幹事業(公園)
動物体験ふれあい施設整備事業
基盤整備事業

○関連事業
有度山総合公園整備事業

■基幹事業(地域生活基盤施設)
緑地、広場、散策路整備



有度山総合公園庭球場